

令和 2 年度 花育推進事業の取り組みについて

1 第 2 次新潟市花育推進計画 数値指標の取り組み

第 2 次新潟市花育推進計画 数値指標一覧							
指 標 名	単位	策定時 H26	R1	R2	目標時 R4	備考	
花育の普及啓発 (健康で豊かな心を培う)							
1	情報紙の発行部数	部	15,000	6,000	6,000	24,000	食と花の 推進課
2	花育関連講座の受講者数	人	2,740	2,203	1,698 人	3,300	食育・花育 センター
3	花育の日・花育月間の推進	回	0	各年 2回	各年 2回	各年 2回	食と花の 推進課
家庭、学校、職場等での花育の推進 (健康で豊かな心を培う)							
4	花育マスターの派遣件数	件	105	- 紹介に変更	- 紹介に変更	170	食と花の 推進課
5	花育団体体験プログラムや アグリ・スタディ・プログラム等の 実施団体数	団体	30	82	51	70	食育・花育 センター
6	保育所、幼稚園、小学校の地域との 連携による花育活動実施率	%	48	54	47	60	学校支援課 保育課
7	生産現場の花育活動登録数	件	2	0	0	20	食と花の 推進課
市民活動、地域活動としての花育の推進 (快適でやすらぎのある暮らしを満喫する)							
8	緑化活動推進事業の実施団体数	団体	390	348	318	400	公園水辺課
「花や緑」あふれる自然や歴史、文化を次世代へ継承する花育の推進 (ふるさと新潟の四季が織りなす「花や緑」の自然や歴史文化を次世代に伝える)							
9	新潟の花や緑について生産者や流 通の現場で学ぶ講座等の受講者数	人	290	120	0	330	秋葉区 産業振興課
「花や緑」に親しむ場の整備 (ふるさと新潟の四季が織りなす「花や緑」の自然や歴史文化を次世代に伝える)							
10	多面的機能支払交付金事業を活用 した植栽による景観形成等への取 組み率	%	77.6	85.7	85.3	90.0	農村整備 ・水産課

(各概要については次ページ以降に記載)

(1) 情報紙の発行部数

花育に関する様々な情報を紹介する「花育通信」を発行。花育関係者や公共施設、学校関係等に配布し、花育の普及啓発を行うとともに、ホームページなどの広報媒体を活用し情報を発信した。

発行部数・回数 6,000部／3回

配布場所 庁内関係課、学校及び保育園（小・中学校、幼稚園・保育園等）
区役所、公民館、図書館、花関連施設 花育関係講座受講者に配布 など

(2) 花育関連講座の受講者数

家庭における花育活動の推進のため、各種園芸講座、新潟の特色を活かした寄せ植えに関する講座、苔やアロマ等多種多様な講座を計71回開催し、1,698人が受講した。4月～6月中旬まで新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、園芸講座及びイベント等の花育体験活動の実施を中止した。展示会は5月末から再開し、16回行った。

園芸講座 1,193人／54回 花育ミニ体験 505人／17回

展示会 16回

苔テラリウム講座

球根の寄せ植え講座

アロマ講座



(3) 「花育の日」の普及推進

「花育月間（4月・10月）」・「花育の日（4月19日・10月19日）」の普及推進
〈春の取り組み内容〉

- ・ 小売店25社38店舗の協力のもと、のぼり旗を掲揚するとともに、店独自の特典やサービスと連動して花の種の配布を行った。



〈小売店アンケート結果〉

アンケート回答数・・・12店舗/38店舗中

◎次回もこのような活動に参加したいか

- ・ 参加したい・・・11店
- ・ どちらともいえない・・・1店
- ・ 参加したくない・・・0店

- ・ 食育・花育センターで4月19日（日）に開催予定だった「カイワレ大根水耕栽培キット作り体験」は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。

<秋の取り組み内容>

- 10月25日（日）に「チューリップクイズとチューリップ球根植えの体験」を食育・花育センターを会場に実施し51組115人が参加した。講師の花育マスターによるチューリップクイズで、例年の球根植えのみの体験と比べ、チューリップへの関心がより高まったようで、質問が多く寄せられた。



(4) 花育マスターによる地域での花育活動の推進 (資料1-2参照)

花や緑に関する専門家を「新潟市花育マスター」として登録し、学校、職場、市民団体等が行う花育活動へ講師、インストラクター等として紹介している。令和元年度より派遣から紹介に制度変更し、活動については花育マスターへのアンケート調査により把握している。

R2花育マスター登録数 77人 (R1 76人)

R2花育活動回数 374回/参加者数 4,294人 (R1 269回/6,908人)

(5) 団体プログラム等の実施

いくとぴあ食花3施設（食育・花育センター、こども創造センター、動物ふれあいセンター）が連携した団体プログラムを市内外の小学校や保育園・幼稚園等を対象に実施した。

令和2年度実績 実施校園数 51件/対象者 1,530人

【内訳】小学校 28校/幼・保育園 16園/特別支援学校 5校/その他 2団体

(6) 保育所、幼稚園、小学校の地域との連携による花育活動実施率 (資料1-3参照)

回答率 100%	市立小学校 106校		市立保育園 85園		市立幼稚園 10園		全体 201校・園	
R2花育活動実施	103校	97%	67園	86%	10園	90%	177校・園	88%
R2地域連携	73校	69%	17園	20%	4園	40%	94校・園	47%
(R1地域連携)	78校	72%	25園	27%	5園	50%	108校・園	54%

地域等との連携による花を通じた世代間交流の取り組みについては、全体で47%と昨年度の54%から減少した。特に幼稚園・保育園において減少し、理由としてコロナ禍で地域の人と活動できないと回答した園が多かった。

地域との連携率は他と比較して保育園において低く、理由として、保育園では、小中学校に配置されている地域教育コーディネーター等の役割を職員が担う負担が挙げられる。保育園における花育活動に係る課題としては、「ノウハウがない」が最も多くなった。

◎花育活動に係る課題（複数回答可）

小学校/①「時間がない」 ②「職員負担が大きい」 ③「予算がない」 (※多い順)

保育園/①「ノウハウがない」 ②「時間がない」、「職員負担が大きい」

幼稚園/①「予算がない」 ②「ノウハウがない」、「職員負担が大きい」

◎花育活動の連携先（複数回答可）

全体/①地域住民 ②コミ協 ③生産者

(7) 生産現場の花育活動登録数

花卉生産組合から花育マスターとして登録してもらい、小学校等の花育活動に派遣していたが、令和元年度に花育マスター制度を派遣から紹介に変更したことに伴い、団体としての花育マスター登録数は0となった。

(8) 緑化活動推進事業の実施団体数

公園水辺課所管の、公園をはじめ、公共施設や道路用地で緑化活動を行う自治会、地域コミュニティ協議会等の団体への支援として、植栽する花苗などの購入費を補助し、地域への誇りと愛着のある緑豊かで潤いのあるまちづくりを推進する事業。令和2年度は318団体が実施した。



(9) 新潟の花や緑について生産者や流通の現場で学ぶ講座等の受講者数

新潟の花や緑について生産者や流通の現場で学ぶ講座は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。チューリップ球根商業生産発祥 100 周年記念の圃場において、自由散策できる対応とした。

公共施設（新潟市8区役所、県内14市役所、県立植物園、県スポーツ公園）にて鉢花の寄せ植えを展示し、来庁者・来場者へPRを行った。



(10) 多面的機能支払交付金事業を活用した植栽による景観形成等への取り組み

農村整備・水産課所管の、多面的機能支払交付金事業を活用した、地域共同による植栽やビオトープづくりなどの景観形成を通じた農村環境の緑化活動への取り組みを行った。



2 その他の取り組み

(1) 花育俳句

昨年に引き続き、「花育」を知っていただく・感じていただく一環として「花や緑に関する俳句」を①小学生の部、②一般の部で募集し、全国から778人、1,130句(R1:292人、543句)の応募があった。各部門で優秀句10句を決定し、優秀選出者には市産の花の記念品を贈呈した(市内居住者にはアザレア鉢花、市外居住者にはチューリップ球根)。また、応募された全句を市ホームページに掲載した。

(2) フル・フル・フラワーキャンペーン

新型コロナウイルス禍で式典、祝宴、イベント等の開催自粛や中止、緊急事態宣言で小売店等の臨時休業も広がり、全国的に花き需要が著しく低迷したため、緊急対策として本市と関係機関(JAグループ、卸、小売店等)が連携し、市内産花きの消費拡大を図り、産地や花業界の事業継続を支援した。

① 割引券を活用した市内産花きの需要・消費拡大支援

市内生花店等(本事業の参加希望店)において1,000円以上の市内産花きを購入した市民に対し、500円の割引(最大半額割引)を実施した。



市内の71店舗が参加



利用者は割引券に
氏名・居住区・性別・年齢を記載して利用

② 市内公共施設等での花展示

区役所等を中心とした公共施設において、市内産花きの展示・装飾を実施し、花きに対する消費マインドを喚起した。



ほんぽーと



新潟駅



区役所

③ 広告宣伝

県内民放4局とタイアップし、市内産花きの特徴や購入方法、おすすめの飾り方や贈り物としての利用などを番組内で宣伝した（ポスター、大型パネル、デジタルサイネージ掲出もあり）。

元・園芸王子の三上真史さん出演「切り花の楽しみ方（飾るときのポイント）」動画を作成し、公開した。



BSN	「なじラテ。」伝言版
	BSN ラジオ「四畳半スタジオ」
NET	「スマイルスタジアム」
TONY	「タ方ワイド新潟一番」
UX	「まるどりっ！サプリ」

(3) 園芸相談の実施

市民が園芸の疑問を解消したり園芸を楽しんだりするために、専門の相談員による電話・メール・面談による相談を行った。

相談件数 5,423 件（内訳：来館 2,926 件 電話 2,241 件 メール・FAX 256 件）

園芸相談コーナー	受付
	※休館日およびは火曜日を除く毎日 午前9時から午後5時 ※電話やメールでも受付 ニワニ ヨイハナ 電話 025-282-4187 メール engeisoudan@ikutopia.com

(4) 萬代橋チューリップフェスティバル

市民が育てた約2万6千本の市の花『チューリップ』で市のシンボルである『萬代橋』とその周辺を彩り、市民の皆さんと春の到来を喜び合いました。

例年開催していたオープニングセレモニーは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から実施しませんでした。多くの園児が遠足に訪れ、たくさんのチューリップを見て楽しんでいました。

参加者 426 団体及び個人(令和元年8月参加者募集、10月～翌年4月チューリップ育成)
 主な参加者：保育園、幼稚園、小学校、中学校、個人、企業、団体等



3 関係団体と連携した取り組み

(1) にいがた花推進委員会と連携した「新潟の花を贈ろう」キャンペーン

	タイトル	日程	会場	内容
1	母の日 「お母さんの好きな花を贈ろう」	新型コロナウイルス感染症の影響により中止		
2	にいがたユリフェア 「大切な人に新潟産のユリを贈ろう」	7月12日(金)～ 15日(月祝)	NEXT21	<ul style="list-style-type: none"> ・ユリの装飾タワー展示 ・産地・品種紹介 ・花のある暮らしの提案
3	いい夫婦の日 「大切な人に新潟産の花を贈ろう」	11月16日(月) ～22日(日)	市内郵便局 第四銀行・北越銀行 新潟駅「MOYORe:」	<ul style="list-style-type: none"> ・市産の花を使ったメイン装飾展示 ・市内花店のアレンジメントギフト見本展示 ・花のある暮らし提案展示 ・市内産アザレアの展示
4	フラワーバレンタイン 「男性から女性へ花を贈る2月14日」	2月1日(月) ～5日(金)	NEXT21	・チューリップの品種紹介展示
		2月9日(火)～ 14日(日)		<ul style="list-style-type: none"> ・チューリップなどを使った花のオブジェ ・花のギフト見本展示 ・花のある暮らし提案展示 など
		2月3日(水)～ 14日(日)	万代シティ ビルボードプレイス	<ul style="list-style-type: none"> ・流木と花を使った高さ4mのアート作品の展示 ・フォトスポットの設置 ・チューリップを使ったワークショップの開催 ・SNSプレゼント企画 など
		2月6日(土)・ 7日(日)	新潟駅 「TABI BAR&CAFE」	<ul style="list-style-type: none"> ・チューリップを使ったオブジェの展示 ・東京駅人気お土産と切り花のセット販売 など

(2) にいがた花絵プロジェクト実行委員会と連携した花絵制作

令和2年4月29日(水・祝)に実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。代替として、12月19日(土)・20日(日)、にいがた花絵プロジェクト実行委員会が万代シティにおいてチューリップ販売を行い、35種類、1,700本が完売した。

